

北相木 議会だより

2023年1月 発行 北相木村議会

発行/北相木村議会 〒384-1201 長野県南佐久郡北相木村2744 TEL 0267-77-2111
発行人/高見澤一好 編集/議会編集委員会 印刷/臼田活版株式会社

No. 26

目次

- 令和4年 定例会 一般質問 2~7
- ふるさとCM大賞NAGANOに参加して 8
- 村民の声 8

議会定例会報告

令和4年第2回定例会 6月8日に招集された議会は、6月17日までの10日間で開催されました。下記議案を審議し、いずれも原案通り可決・採択されました。

承認第1号	専決処分の承認を求めることについて（北相木村税条例等の一部を改正する条例の制定について）
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて （北相木村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について）
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて（北相木村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について）
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて（新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者に対する国民健康保険税の減免の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について）
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて（令和3年度北相木村一般会計補正予算（専決第1号）について）
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて （令和3年度北相木村国民健康保険特別会計補正予算（専決第1号）について）
承認第7号	専決処分の承認を求めることについて （令和3年度北相木村後期高齢者医療特別会計補正予算（専決第1号）について）
議案第1号	北相木村長者の森（木次原地区）森林総合利用施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第2号	令和4年度北相木村一般会計補正予算（第1号）について
議案第3号	令和4年度北相木村簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）について
議案第4号	令和4年度北相木村診療所特別会計補正予算（第1号）について
議案第5号	令和4年度北相木村介護保険サービス事業特別会計補正予算（第1号）について
議案第6号	北相木村過疎地域持続的発展計画の変更について
議案第7号	北相木村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
発議第1号	「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書について
	各常任委員会及び議会運営委員会の閉会中の所管事務の調査の件について

一般質問

令和四年六月十七日
議会定例会

井出 勝城 議員



旧東京電力事務所の跡地利用について
質問

台風19号災害以前より東電跡地利用についてはたびたびの議論がされてきましたが、災害復旧工事事務所などに利用されていて、現在具体的な計画がされていません。今後どのような利用をしたいのか。

私としては、本村には村民の皆さんの集う場所が無いので、東電跡地が皆さんの憩う場所になればいいなと思っていますが、よろしくお願います。

村長

実質的にはアイズランドに返していただいた平成28年4月から6年間は借り手を探していたが、見つからなかったのが現状だと思っております。

いつまでも放置しておくわけにもいきませんし、かと言って事務所として借りたいという会社もなかなか見つからないと思っておりますので、ここで方向転換しまして、村民の皆さんが活用する施設として4、5団体を募集し、それに見合った改築をしたいと考えております。

まず食品加工所とキノハナ・子育てグループの活動の場として3区画。そしてそれ以外のグループを1、2グループ募集したいと思います。場合によっては直売所との抱き合わせで、北側の2階部分にカフェを設けてちょっとした飲食ができるスペースも検討したいと思っております。

再質問

時間が経つのは早いわけでありまして、できればこ

れを実行できるよう是非取り組んでいただきたいと思っております。

木次 茂 議員



北相木小学校児童数の安定的な確保について

質問

小学校の児童数の確保は村の存続にもかかわる重大な問題だと考えます。

平成22年度は全校で28人といった危機的状況から10年が過ぎ、ここ6年ほど全校で60人前後と安定した数が保たれていますが、その約半数は親子山村留学を含む山村留學生です。

児童数確保については山村留學事業に頼っている部分がかかなり大きいと感じているところです。この山村留學生ですが、どのような経緯で募集され来村される場合が多いのでしょうか。

村長

本年度の児童数は、全校児童57名、うち地元児童が31名、親子留学7名、センター生19名となっております。1年生から3年生の児童数が依然として少なく、親子留学をもっと積極的に増やしていかなければならないと考えております。

低学年で親子留学に入ってきた皆さんが1、2年で帰られるのではなく、高学年になっても継続していただいている現状は、人口の減少対策として今後も有効であり、センター生を現在の20人前後から15人程度にまで減らしても親子留学を増やしていくべきだと考えております。

ご質問の募集の経緯であります。ここまで山村留學生を増やせた要因は、何といっても花まる学習会との連携が大きかったと思っております。

また山村留學生が急増したことにより北相木村イコール山村留學の村という認知度が高くなり、山村留學生に感心のある皆さんがホー

ムページを見て体験をする割合が近年は非常に高くなっております。

昨年度の体験者39名中、花まる13名、ホームページ18名、紹介7名、その他1名となっております。

例年ですと、花まる学習会に出向き、山村留學に感心のある保護者の皆さん80名程度に売木村と群馬県上野村の3村で説明会を行なっております。

花まる学習会とは従前どおりの契約で、月1回の花まる授業や青空教室を開催しており、連携はしっかりしております。

再質問

小学校の児童数の割合は1学年10人、全校で60人程度が理想かと思えます。平成28年度より親子山村留學の開始により、低学年生の受け入れが可能になりましたが、低学年生の受け入れは複式学級の解消にもつながり、村費負担が軽減されるような数になることが望ましいのではないかなと思

います。山村留學生の安定的な確

保については、花まる学習会との連携は常に密に取っておくべきではないかと考えます。

昨年度もコロナ禍により十分な体験入学ができなく北相木小学校の良さを知っていただける機会が少なかったわけですが、そういった中でも北相木小学校の児童数確保のためにも尽力していただくことをお願いしまして質問を終わります。

菊池 敏廣 議員



村行政サービス、補助金などについて

質問

要介護に至る前をフレイルと言います。

健康寿命は男性72歳、女性75歳。平均寿命と健康寿命の差が村医療費、介護費の増加などで家計や村の社会保障費の増加に大きな影

響があると考えます。村では人間ドッグ補助金で2万5,000円の他各種検診も手厚く、年間250万円ほどの補助をしています。一歩進めて村民が75歳前後のときに1回、佐久病院の一泊ドッグを全額村費でやってほしいと提案します。実行することで本人、家族のフレイルに対する心構え等が再確認されると思います。

一泊ドッグは一人約7万円かかります。人口分布から推定すると年間約10名です。補助金は70万円ぐらいと決して大きな負担ではない金額だと思います。

村長

75歳前後のときに1回佐久病院の一泊ドッグを全額村費でというご提案ですが、すばらしい提案だと思います。人口の多い自治体では絶対に不可能ですが、人口の少ない小規模な北相木村ですから可能な政策の1つだと思います。早速役場内で検討し、受診するのなら何歳が最適なのか等検討し、できれば来年度予算から反映できればと思っております。

人間ドッグの補助を過去10年で何名利用したのか住民福祉課の方で調べていただきました。10年間平均で11名の利用です。補助金額が少ないと考えられませんか。

一泊ドッグにつきましては、佐久病院で6万8,200円ということだと、一泊ドッグに対する補助金を新たに考えてもいいのかと思います。今後検討してみたいと思っております。

再質問

村長

再質問

村民の高齢化によって必然的に高齢ドライバーが増えてくるのが予想され、いずれは免許返納なり、身体機能の低下で運転できないときが誰しも来ると思います。外出する機会が減り、閉じこもりがちになると気分的にもマイナスの部分が出てきます。歩行を補助する乗り物シニアカーを使うことにより、安心安全に活動することが出来ます。そこで購入補助の制度を新設してほしいと思います。

シニアカーの購入補助金についてでございますが、確かに免許証返納後にシニアカーを必要とする方がいらっしゃると思います。心配なのは運転される方の心身の状態であり、運転技術だと思っております。運転免許証を返納された方はそれぞれ心身に異常といったら失礼ですが、何か支障を来している方または高齢者の方なので事故の可能性も心配となります。

私の私的な考えでは、危険性を考えるとシニアカーはあまり普及してほしくないということですが、皆さんの意見を聞きながら検討していく必要があるのではないかと思います。

令和4年第3回定例会 9月7日に招集された議会は、9月16日までの10日間で開催されました。下記議案を審議し、いずれも原案通り可決・採択されました。

議案第1号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第2号	北相木村選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第3号	北相木村におけるあらゆる差別をなくすことをめざす条例の一部を改正する条例の制定について
議案第4号	令和4年度北相木村一般会計補正予算（第2号）について
議案第5号	令和4年度北相木村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について
議案第6号	令和4年度北相木村簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）について
議案第7号	令和4年度北相木村診療所特別会計補正予算（第2号）について
議案第8号	令和4年度北相木村介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について
議案第9号	令和4年度北相木村介護保険サービス事業特別会計補正予算（第2号）について
認定第1号	令和3年度北相木村一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について
同意第1号	教育長の任命同意について
	各常任委員会及び議会運営委員会の閉会中の所管事務の調査の件について

山口 吉彦 議員

議案第4号 令和4年度北相木村一般会計補正予算(第2号)について

質問

ふるさと基金への積み立てですが、いきなり5,000万円やると補正で計上しておりますが、なぜ今ここで積み立てをしなればならないのか、そして5,000万円の根拠はいつた何なのでしょうか。

村長

5,000万円の根拠ですが、今ご質問にありました歳入予算のふるさと基金からの繰り入れが、補正後は300万円ございます。このペースでやったら10年経てば3,000万円というところで、基金に積み立てることは今必要になってきました。

昨年度の決算書を見ていただきますと、繰越金がかなりの額がございます。長い間を見越して、今後に備えて、ふるさと基金に5,000万円積み立てようということです。

再質問

このふるさと基金というのはふるさと創生の1億円をもとにしているということなので、その1億円が終わってしまったら、終わるものなのかなと思っております。もういらないと思っております。あえていやなことを言いますが、終わってしまったら不思議のないふるさと創生のお金に、ここで5,000万円を村として積み立てを加える意味が、村民全体に理解できるのででしょうか。

村長

ふるさと創生事業の中の一つとして、五島列島と交流を始めまして、もう36回ぐらい行っています。小学校の時間において北相木村が一番大きい事業です。

海のない北相木村としましては、海での体験を十分に、小学校時代の一番の思い出にする非常に大切な事業だと思っております。これからも継続していくつもりです。

再質問

当初からみれば今年のように、内容がずいぶん変わ

一般質問

令和四年九月十六日

議会定例会

山口 吉彦 議員



北相木村の人口減少対策について

質問

422という数字がある

書物にあるのですが、この数字が何だと思われませんか。

村長

これは日本創生会議というところが数年前に発表したもので、18年後の北相木村の人口がこの位に減少しているであろうという数字、これが422人でございます。人口を減らさないために必要な政策はいつたいたんでしようか。

空き家を購入し解体して、そこに新しい村営住宅をつくることは、様々な政策がある中で順位の高い政策なのででしょうか。

移住を考える人には、移住先の働く場所の確保について取り組んでみたい産業があるかといったことも移住を考える一つの条件だと思うのですが、この点についてどう考えていますか。

仕事のやりがい重視する移住者も多いという統計もあります。働く場所の問題も大きな問題だと思いますが、いかがでしょうか。これまでの北相木村の政策は、他の市町村よりも有利な状況にあると思いませんか、それとも周回遅れのような状態にあるのでしょうか。

1点目の空き家の購入・解体に伴う村営住宅の建設ですが、私にとっては選挙公約の最重要課題として掲げた順位が一番高い施策であります。

働く場所の確保と住む家の確保については、村内に宅地がないことと空き家対策を兼ね合わせて、各地区

内の空き家を購入し、新しく住宅を建てることは、私は有意義であると考えます。

2点目の働く場所、産業についてでございますが、これはなかなか困難なことだと思います。

中部横断道が八千穂まで開通したことに伴い、佐久平までは通勤圏となったことを活用するのが一番なのかなと思っております。あるいは、森林従事者を増やして村に住んでいただけたらいいのではないかと思います。

3点目の移住への取り組みでございますが、現在の北相木村の施策ではまだまだとても先進的なことをされている自治体と比べたらひよっ子です。

再質問

人口減少対策に取り組んでいる姿は、その姿勢を示すことが重要だということで、他の自治体から移住者と呼んでくることを目的として、無鉄砲な住宅政策を展開するケースが全国各地に見受けられる。そんな中で、2軒の村営住宅をつく

るために9,000万円以上のお金が出ていくのであろうとなると、無鉄砲に当たりませんか。

移住を検討しても実現しない人が多いという原因はなんだろうと考えると、移住者、特に若者の働く場所がないということが挙げられております。若者の雇用問題は有配偶率、この低下の大きな要因でもあり、地方における若者の雇用の場をつくることの重要性を考えた政策が求められます。

なぜ若者が過疎地域から離れていくかと考えたら、仕事がないこと、この1点に尽きると言われております。それも結婚して子育てができるくらいの収入が得られる仕事があるかどうか問われております。移住を考える世代にとってこれは大きな問題であり、年収500万円くらいが必要だと言う人もいます。この年収がなければ子供を高校や大学に行かせることもできず、教育格差とう難しい問題を抱えることになりまして、住民が食べていけないだけ、

村長

あるいは十分な教育ができてだけの収入を得られるような産業の創出が必要であり、その鍵を握る産業開発を目指すことが必要であると考えます。

今までいくつかある住宅の中で最近つくったものは90平米以上あったのですが、今回は75平米くらいにしてくれと設計屋さんにも提案しました。そこで弾いた金額があつた金額で私も非常に驚いております。普通でしたらそんな3千何百万円の住宅はできないと思えます。ただし北相木村においては過疎対策事業債が使えますので、7割補助ということ、3千万円でしたら村の持ち出しが900万円になる、だからできる政策であります。

新たな産業を創出するのはなかなか北相木村では困難なのかなと思っております。そんな中で林業経営については非常に有望だと思っております。

産業の創出というのは私は考えるに、北相木村だけ

で考えるのはちょっと無理があるのではないかと、先程も申しましたが、佐久平までが通勤圏でありますので、佐久広域全体で考えていかなければならないことかなと思っております。

菊池 敏廣 議員



村の村有林伐採計画と再造林について

質問

50年先を見据えての中で、今後5年間の予定、また長期の展望はどう考えていますか。

村長

今年度より、森林所有者を対象に意向調査を実施し、意向調査の結果を踏まえた村の森林全体計画を立てます。長期計画は、村の森林全体計画を「森林整備50年計画」として作成します。森林整備を進めるにあた

り再造林が課題となっております。再造林には村単独で嵩上げ補助を実施しているため、全国的にも高い再造林率ですが、皆伐後の天然更新つまり植栽が行われない箇所もありますので、再造林を進めるさらなる政策の検討を進めたいと考えております。因みに再造林率でございますが、北相木村は現在60%、全国では20%程度でございます。

本年の当初予算でお認めいただいた村長室のカラマツによる木質化、役場カラマツによるカラマツによる改修も含めて、北相木村のブランドカラマツをよりアピールしていきたいと思っております。

再質問

小面積の持ち主も売りたいと考えている人はいると思います。小面積の持ち主にアンケートなどで意向を聞いて、村で近隣の持ち主に声をかける方法等を考え、実行していただきたいと思います。

村長

小規模森林については、

森林面積の集約化を進めてまいります。面積をまとめることで、小規模面積の森林でも補助対象とすることができると、収益も上げやすくなりますので、考えておられる方は役場の担当にご相談いただきたいと考えております。

再質問

担い手不足で林業衰退に歯止めがかからないこともあると思います。村に住んでもらう作業員等の確保も必要になってきます。森林従事者を増やすことは、村で進めている空き家対策にもつながってくることで、その点はどのように思われていますか。

村長

村内の林業事業者の法人が起業し、順調に事業を行なっており、今後も林業従事者の確保は進めていくべきだと考えております。

林業の担い手を増やす取り組みとして、「地域おこし協力隊」という制度がございますので、例えば「地域おこし協力隊」で林業従事者に限定して募集して、

例えば2、3人が北相木村に入ってきて、3年「地域おこし協力隊」として働いてもらった後、村の法人だとか森林組合にお勤めいただいで、北相木村に住めれば最高なのかなとそのように考えております。

再質問

村の先輩諸氏が残してくれた大切な宝物です。村のために大いに活用していただきたいと思っております。よろしくお願ひしたいと思います。

峰尾 勝己 議員



持続的発展計画に基づき、高齢者雇用について

北相木村過疎地域持続的発展計画の中で基本目標として若者から高齢者まで、働く意志を持つ人の活力を十分に活かせるよう、雇用の場

を確保する取り組みをいたしました。

高齢者の雇用の場を確保する具体的な施策をお持ちであるのかご答弁を求めます。

村長

雇用の場の確保が村にとって大きな課題だと再認識しております。

例えば佐久シルバー人材センターは国・佐久市・佐久穂町・小海町から支援を受けて運営されており、自らがこれまでに培ってきた経験や知識、技能を活かして、社会の担い手となる素晴らしい団体であると思っております。働く意欲と能力を持った高齢者であれば誰でも参加でき、報酬も得られて高齢者の社会参加により生き甲斐の充実が図られております。

しかしながら、北相木村独自でシルバー人材センターを立ち上げたとしたら、何人の人材が集まるかというところが課題だと思っております。

有償でそのようなシステムを立ち上げたいとは思いますが、

ますが、なかなかハードルが高いと思われ、まずは登録される希望者がいるか希望を募ってから検討させていただきます。と考えております。

再質問

北相木村版の「まち・ひと・しごと総合戦略」が作成されており、人口減少による過疎対策の移住・定住に一層力を入れるとありました。

村長の根幹政策である移住・定住による人口増計画がございます。それらの計画の中で移住された方々が将来高齢者となり、雇用の場を確保しているかを考えていかなければならないと思っております。

村長

例えば農業で菊を作っていた人が、後継者がいなくなつて自分は廃業したけれど、どこかで菊を作りたい人から指導することも必要だと思ひますし、そういう何でもやれる形態が作れば一番良いのではないかと考えております。

再質問

高齢者の生き甲斐や希望を満たしていただけることが「好きです北相木」のキャッチフレーズではないでしょうか。

村長

北相木を存続するために立候補して村長になつたつもりでありますので、これからも北相木の前途を区切らないようにしっかりとやってまいりたいと考えております。

再質問

生涯現役社会の実現に向け、高齢者に対する就労のあり方に盛り込まれていることが施策です。どうか北相木村も2030年問題を先取りした高齢者のモデル地区となるように行政の活躍を心からお願ひいたします。



ふるさとCM大賞 NAGANOに参加して

11月27日にふるさとCM大賞NAGANOが長野市若里市民文化ホールにて行なわれました。長野県下77市町村の内66団体が参加し、18団体が最終審査に臨みました。

北相木村では90%以上が森林が占めており、先祖の方々が、子供や孫のために植えて来た唐松などの木材が伐期を迎えています。何かと木材産業の発展に繋がればとの想いから、今回のCMが出品されました。

我が村からは、村長はじめ11名の関係者が参加しました。

大賞の他13の様々な賞が用意されています。長い緊張の時間がすぎ、もう無理かと思いましたが、上位から3番目の八十二銀行賞を頂く事ができました。参加者のみならず、村民全体の想いが7名の審査員の心に響いたのでは、と思いたい大感謝しています。

今回の受賞を期に少しでも木材産業の発展に繋がる事を願っております。

ありがとうございました。



村民の声

村民の皆様、こんにちは。令和3年の7月より、村内で林業の会社を立ち上げました、北相木森水舎の野本浩幸と申します。出身は遠く沖縄県。長野市松代で酒屋を経営する野本家に婿に入りましたが、義母の進めで林業の道に。木曾の林業大学校を卒業後、「一番良いカラマツのある」北相木村に移住しました。

森林土木コンサルと森林組合で勤めたのち、やはり酒屋も継ぐこととなり、一旦は長野市に単身赴任。しかし、コロナで売上半減しており、酒屋と林業2足のわらじを履くこととしました。

会社を始めて1年少しですが、おかげさまで、北相木・南相木を中心に多くのお仕事を頂き、社員も10名となりました。カラマツの皆伐再造林（伐つたら植える）を中心に、支障木伐採や草刈りなど、山や木の仕事全般をお引き受けしております。効率追求よりも、丁寧で安全な仕事を心がけて、次世代に残る良い山を作りたいと考えています。



現場と並ぶもう一つの柱として、国、市町村、民間に向けたコンサルディング事業を行なっています。北相木村の現場を拠点に、日本の林業全体を良くしたいという思いです。特に、現在の林業は非常に危険な仕事で、労災発生状況は全産業ワーストです。「人が死なない林業」を目指し、伐倒を含む林業の機械化、遠隔化、自動化に取り組み、世界を変えたいと思っています。私は、この北相木村と、ここに住む皆さんが大好きです。人口を維持して、村を残したいという思いから、社員にはなるべく村内居住を薦めています。社員一同、様々な面で皆様のお役に立ちたいと思っております。今後とも変わらぬご支援の程よろしくお願いします。

編集後記

442年ぶりの、皆既月食と天王星食のコラボレーション、トルコ国旗のような三日月と金星のコラボと、本年もいろいろな天体ショーが観られた。

他にも一日を通して、いろいろな空の様子が今までになく神秘に満ちてきている中、最近のスマホのカメラの性能アップにより、いろいろなところで写真を撮る事ができるようになりました。先日も佐久市からの帰り道、雲を追いかけ寄り道に、寄り道を重ね、家に帰り着いたときはすでにあたりは真つ暗。新型コロナウイルスのため、なかなか出かけることはできないかもしれないが、空を見上げれば、そこには美しい青空と、神秘的な朝焼けや夕焼けが広がっています。もう少しの辛抱です。つらくなったら空を見上げ、勇気をもらいましょう。

しかし、気候が変わってきているのか、最近の空って今まで見たことないような空がたくさんあるね。